

# 「コロナ禍 民医連は

増田剛会長に聞く

新型コロナウイルス感染症対応の最前線に立ってきた全日本医師医療機関連合会。先月末に第45回定期総会を終え、「人権を守る公正でいのちとケアが大切にされる社会の実現」を目指すなど今後の運動方針を決定しました。コロナ禍で果たしてきた医連の役割や今後の抱負について、増田剛会長に聞きました。(小酒井直由)

—コロナ禍の2年 た。

■垣根の低さ力に  
おなかしたこと等期  
に、かつ深刻になると  
は思いつめさせんで  
した。衝撃の2年でし  
ますが、このままでは医

多くの民医連加盟病院がコロナに対応しました。21年7月の17病院から、同年8月末には57病院・15233床に広がりました。各科・各部署間の垣根が低く、職員一人となって対応できる医療連携の強みが、力を発揮しました。

—コロナ感染が拡大する中で医療崩壊が起きましたね。医療供給体制がひつ

たからです。民医連は2020年2月にコロナ対策本部を設置し、情報の発信などに取り組みました。

民医連は2020年

減政策のもとで病床数や人員を減らされたうえ、病院経営もまた余裕がなかったといふべく、患者の受診控えなどによる減収が起きたからです。

「放置」され、容体が急変しても医療にかかりにくくしてなる事態も起きました。呼吸困難に陥っても、高齢という理由で治療を制限されるなど、命の選別も現実化しました。

感染対策への対応から、専門業者による通常の引き取りが滞り、病院や介護施設では、亡くなつた方をそのまま留め置くという事態が起りました。週体を冷やす保冷剤を替えることが日常業務になるなど、現場職員には大きな精神的負担がかかりました。

—この厳しい状況で、民医連は職員への心理的ケアを重視してきました。



# 地域と連携 命守れと全力

迫する中で、入院対応が基本だった新型コロナ感染者を、政府は突

か。

第6波ではそれまで

ない勢いで感染者が

ます。

地域で他の医療・介

護施設と連携して住民

のいのちと健康を守る

活動が必要です。患者

も急増し、亡くなる人も

ます。受け入れ先が数時

間みつからないなど救

護を提供するために、

社会保険制度を充実さ

せる運動も重要です。

他方、自公政権はコ

ロナ流行前の地域医療

試薬や検体採取の綿棒

が足りないと「笑え

ます。

検査キット不足も深

刻です。PCR検査の

構想に基づく病院統合・病床削減を推進す

るなど逆行する動きを

みせています。医療公

衆衛生の再構築」もが

いま、必要です。

7月には参院選があ

ります。昨年の総選挙

で市民連合と立憲野党

が掲げた共通政策は、

民医連の要求とも重な

ります。市民と野党の

共闘をさらに強化し

て、政治を変えるため

に民医連も奮闘しま

す。

—現状はどうです

けられるより無差別・

平等の活動が求められ

ます。

地域で他の医療・介

護施設と連携して住民

のいのちと健康を守る

活動が必要です。患者

も急増し、亡くなる人も

ます。受け入れ先が数時

間みつからないなど救

護を提供するために、

社会保険制度を充実さ

せる運動も重要です。

他方、自公政権はコ

ロナ流行前の地域医療

試薬や検体採取の綿棒

が足りないと「笑え

ます。

検査キット不足も深

刻です。PCR検査の

構想に基づく病院統合・病床削減を推進す

るなど逆行する動きを

みせています。医療公

衆衛生の再構築」もが

いま、必要です。

7月には参院選があ

ります。昨年の総選挙

で市民連合と立憲野党

が掲げた共通政策は、

民医連の要求とも重な

ります。市民と野党の

共闘をさらに強化し

て、政治を変えるため

に民医連も奮闘しま

す。